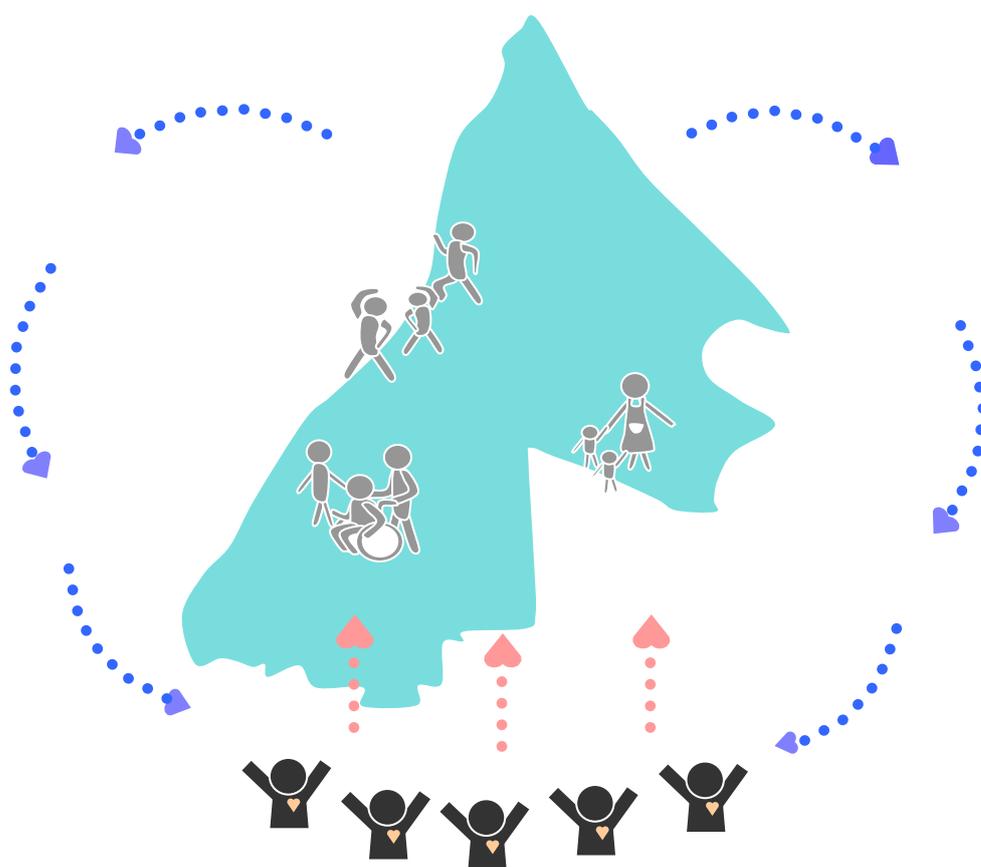


令和4年度すみだの夢応援助成事業
プレゼンテーション
プログラム



令和4年5月15日（日）午後1時00分～
墨田区 地域力支援部 地域活動推進課

目 次

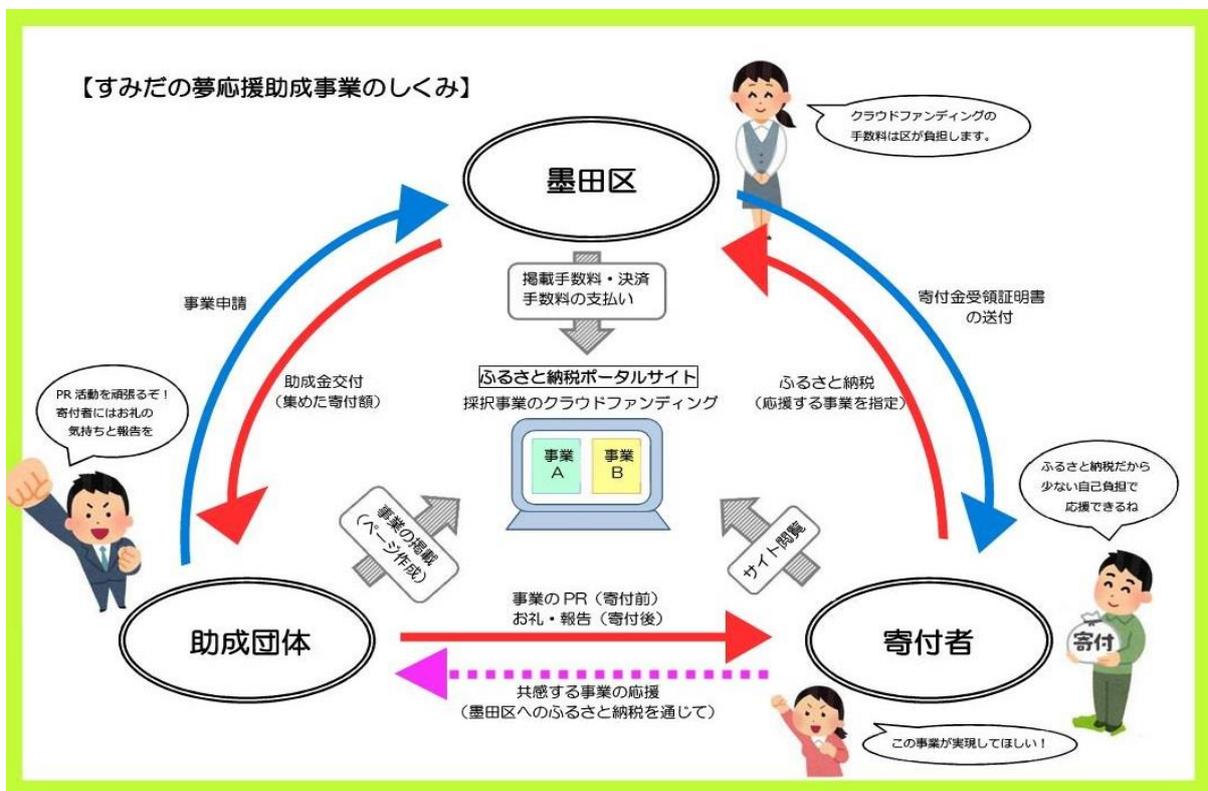
はじめに	2
プログラム	3
プレゼンテーションの方法（ルール）	4
審査項目・審査基準	4
助成の決定	4
令和4年度すみだの夢応援助成事業 申請事業一覧	5

はじめに

すみだの夢応援助成事業は、地域活性化プロジェクトとして、「地域を盛り上げたい」「地域の困りごとを解決したい」「新しいことにチャレンジしたい」といった、区内で実施する「新規性のある意欲的なプロジェクト」に対し助成するものです。

【助成のしくみ】

区は、助成団体に「ふるさと納税を活用したクラウドファンディング」の機会を提供します。サイト掲載手数料・決済手数料は区が負担するため、助成団体は手数料の負担なしで、集めた寄付金の100%を助成金として受け取ることができます。



※ 助成額はクラウドファンディングの結果により変動します。定額の助成金が保証されるものではありません。

※ 助成が決定した事業は、目標どおりに寄付が集まらなかった場合でも、事業規模を縮小するなどして、必ず実施していただくこととなります。

この制度を通じて、寄付者は共感する事業を個別に指定して応援することができ、事業を実施する団体と寄付者がつながることで、本来の寄付の趣旨を実現することが可能となります。また、区内外から新規性のあるプロジェクトを呼び込むことで、墨田区における新たな人材の交流や地域の活性化をめざすものとします。

プログラム

【プレゼンテーションスケジュール】

開始時間	団体名	事業名
1:00	開会（挨拶・プレゼンテーション方法の説明）	
1:10	特定非営利活動法人声とことばの力	シニアの経験と知恵をこどもたちの未来に活かす～SUMIDA こども未来応援団プロジェクト～
1:25	一般社団法人つながる橘	商店街コワーキング長屋・シェアキッチン「惣菜ラボ」をつくろう！
1:40	株式会社セラピア	IT技術で墨田区を元気に！小中学生スマホアプリコンテストの開催
1:55	一般社団法人 SSJF	イベントですみだを障がい者アートでうめつくしたい！
2:10	休憩	
2:20	特定非営利活動法人 マイフェイス・マイスタイル	他人事 <small>たにんごと</small> から自分事 <small>じぶんごと</small> へ ～子どもたちが楽しく学べる「人権学習ポータルサイト」プロジェクト～
2:35	特定非営利活動法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会	「もっと広げたい！まちなか農園 !! すみだに蛍の名所をつくりたい！」
2:50	特定非営利活動法人 Chance For All	墨田の廃材で子どもたちが自由にあそべる「あそび大学」
3:05	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト
3:20	閉会	

■ プレゼンテーションの方法（ルール）

- (1) 1団体の発表は7分以内とします。申請事業の内容を中心に発表してください。
- (2) 発表終了後、すみだの夢応援助成事業専門家会議による質疑を行いますので、要点を簡潔にお答えください。
- (3) 他団体のプレゼンテーション中における入退室は自由としますが、自身のプレゼンテーション順番時に不在の団体は、審査対象から除外します。
- (4) 傍聴者の発言など、審査に影響を及ぼす意思表示は認められません。

■ 審査項目・審査基準

	審査項目	審査基準
①	新規性・創造性	先進的で独創的な取り組みであるか。SDGs（※）の視点を取り入れ、「持続可能でよりよいすみだの実現」を目指す内容となっているか。
②	発展性・継続性	広く地域社会への波及効果が期待でき、ICT等を活用し将来的に新しい展開につながるなど、発展性・継続性があるか。コミュニティビジネスとして成立する可能性があるか。
③	地域貢献性	地域や社会的ニーズを捉え地域に貢献する取り組みである、社会的意義が認められるなど、事業実施による地域力の向上が期待できるか。
④	実現可能性	事業計画・スケジュール等に具体性があり、事業実施に必要な体制や、多様な連携・協力関係を有しているか。担当者・実行者の存在が明らかであり、迅速な対応がとれる団体であるか。
⑤	経費の妥当性	資金計画が妥当であり、自らの資金確保についても考えられているか。目標額に達しなかった場合の資金計画はあるか。
⑥	クラウドファンディング適合性	多くの方（区内外）の共感を得られる内容の事業であるか。資金調達に向けた広報活動に対する意欲やネットワーク力があるか。返礼品の提案内容が事業の趣旨に沿っているか。

※SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能でよりよい社会の実現」を目指す国際目標のこと

■ 助成の決定

プレゼンテーション終了後、すみだの夢応援助成事業専門家会議による評価を踏まえ、協治（ガバナンス）まちづくり推進基金審査会において審査を行い、その審査結果をもとに、区が助成の可否を決定します。

助成の決定は助成総額の範囲内（令和4年度は4,800万円）で行いますが、実際の助成金額はクラウドファンディングの結果によって変動し、寄付総額に対して、交付決定手続きを経た上で、最終的に確定します。

令和4年度すみだの夢応援成事業 申請事業一覧

※事業の概要は各団体の事業計画書の「事業概要の内容」より抜粋

	【団体名】事業名 / 事業の概要	目標設定額
1	【特定非営利活動法人声とことばの力】 シニアの経験と知恵をこどもたちの未来に活かす ～SUMIDA こども未来応援団プロジェクト～	3,550,000円
	いつまでも元気で、生きがいを持ったシニアライフを実現したいと考える区民が、学童期のこどもたちにこれまでの経験と知恵を伝え、こどもの健全な育成に寄与する場を創成します。「SUMIDA こども未来応援団」の団員となるシニアは①認知症・フレイル予防など、超高齢社会において最期まで自分らしく過ごすためのスキル②遊びを通してこどもの生き抜く力を育てるためのファシリテーションスキルを学ぶことができます。「朗読」と「遊び」というコンテンツから出発し、シニアとこどもが交流できる新たなコンテンツを生み出しながら、こどもたちとリアルな交流を積み重ねていきます。	
2	【一般社団法人つながる橋】 商店街コワーキング長屋・シェアキッチン「惣菜ラボ」をつくらう！	5,000,000円
	商店街内において、コワーキングスペースとシェアキッチン及び滞在型インキュベーション施設を建設し、商店街の商品・サービスや食のニーズの多様化に応えられる商品等を研究開発・展開する拠点とします。この建物の建築デザインは、京島らしい昭和初期の建築様式の長屋を再現した形態とします。	
3	【株式会社セラピア】 IT技術で墨田区を元気に！小中学生スマホアプリコンテストの開催	1,200,000円
	製造業の事業所の減少が続く墨田区の産業をもっと元気にするために、墨田区の将来を担う若手に向けてIT人材教育及び産業とのコラボレーションを行います。具体的には墨田区の小学4年生から中学生に3ヶ月間のスマホアプリの作り方講座を提供し、同時に、作ったアプリを披露する場としてアプリコンテストを行います。コンテストには区内の企業をお招きし、アプリの発表の場としてだけでなく、技術を持った小中学生と区内の企業とのコラボレーションのきっかけを作ります。	
4	【一般社団法人SSJF】 イベントですみだを障がい者アートでうめつくしたい！	1,600,000円
	墨田区の観光資源を題材として、障がい者アートを基本の題材としてコーディネーターとデザイナーによりGoods化し付加価値のある商品を作りだし、その商品を使って身近に目で、手で触れられるイベントの実施や販売商品を作成します。例えば、イベントに使われる障がい者アートGoodsは、協賛Goodsののぼり旗やフラッグを作成し、墨田区内の様々なイベントで掲げることによって墨田区全域のイベントごとに障がい者アートGoods化事業に興味を持ってもらいます。	

	【団体名】事業名 / 事業の概要	目標設定額
5	【特定非営利活動法人マイフェイス・マイスタイル】 <small>たにんごと</small> 他人事から <small>じぶんごと</small> 自分事へ ～子どもたちが楽しく学べる「人権学習ポータルサイト」プロジェクト～	3,400,000円
	授業で利用できる「人権学習」ポータルサイトを立ちあげます。各分野の第一線で活躍している人たちの協力の下、「退屈で他人事」ではなく「楽しく自分事」になる動画コンテンツを提供。プログラム（動画を見た後、どんなグループワークを行うと効果的か、ケーススタディの進め方など）もあわせて提案します。来年度以降には、アバターを使って人権課題を体験学習するメタバースコンテンツも検討しています。子どもの人権感覚を高めるとともに先生の多忙化を軽減し、誰も取りこぼさない「人権のまち・すみだ」をめざすプロジェクトです。	
6	【特定非営利活動法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会】 「もっと広げたい！まちなか農園 !! すみだに蛍の名所をつくりたい！」	1,000,000円
	①「蛍プロジェクトの継続化、墨田区に蛍の名所を作る」壮大な夢への挑戦 たもんじ交流農園内のビオトープで毎年蛍が卵を産み、羽化する自然発生を目指すため、高校生・大学生たちと一緒にビオトープに清流を作るべく、自然エネルギーを中心にした水循環システムを構築する機会を提供します。 ②「誰でもが簡単に広げることのできる日除けテント」設置 ウッドデッキ広場に誰もが必要な時にさっと広げられる巻き上げテントを工夫して設置します。皆でアイデアを出し合いながら、一緒に作っていくプロジェクトです。陽ざし・暑さを気にすることなく、気軽に交流できるコミュニティの場を提供します。	
7	【特定非営利活動法人 Chance For All】 墨田の廃材で子どもたちが自由にあそべる「あそび大学」	5,131,220円
	墨田区の町工場から出た廃材を集め、千葉大学墨田キャンパス内で「あそび大学」を開催します。墨田区の小学生は誰でも無料で参加することができ、なにをしてもなにをいなくてもいい自由な遊びの空間を展開しています。今年度は、毎月の定期開催に加えて夏休みの特別企画として『夏のあそび大学』を実施します。子どもたちの中から30人ほどのリーダーを募り三ヶ月をかけて子どもたちと一緒に企画から行います。夏休みに一週間、リーダーが中心となって子どもたちが自分たちで子ども主体の街を作り上げるというプロジェクトを開催します。	
8	【公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団】 新日本フィル「音楽の力で人とまちを元気に」プロジェクト	35,000,000円
	世界の共通言語であり、全ての人の心を動かす力を持つ「音楽」に触れる機会を広く提供し「音楽のまち=すみだ」のイメージ浸透のため、下記の事業を行います。 1. 中高生、在日外国人、外国人観光客、福祉施設利用者などに対し定期演奏会への無料招待 2. 井上道義氏が作曲・監督を手掛ける世界初演のミュージカル・オペラ 3. 区内外で楽団員が演奏活動を行う「まちかどコンサート」 4. 墨田区内でのアンサンブルを収録した動画を配信する「まちかど配信」 5. 過去の演奏音源をアーカイブ化 6. 広報活動	



【令和4年度すみだの夢成援事業 プレゼンテーション】

発行 令和4年5月

墨田区地域力支援部地域活動推進課